

## 仙人通信 206 釜の沢五峰(565m)

釜の沢五峰は、埼玉県小鹿野町にあり、周囲を山脈に囲まれた低山である。

小鹿野町の般若地区にある民宿長若山荘の駐車場を借りて、釜の沢五峰・中の沢の頭を経て金精神社・文殊峠を廻るコースとした。

民宿の横の五峰の入り口の道標に従い、杉林そして瀬音を聞きながらのスタートである。雨が上がり2日目であるコースは、大丈夫と判断しての入山で有ったが、ほぼ雨上がりの状態で滑りやすく、更に訪れた人の足跡も皆無で、一步一步確かめ気を引き締めて進んだ。ピンクのテープと残された凹地となった足跡を頼りに30分程で一の嶺だ。

幅1m×長さ3m×高さ1m程の岩の上に一の峰の碑だ。沢を挟んで対岸の亀ヶ岳が望めた。更に9分程で二の峰で、北西方向が開けるも棚引く雲の中である。鎖場のある尾根であるが東側は杉林で視界は利かない。12分程で三の峰となり、鎖場を過ぎた頃から、蕾の先が赤くなったコウヤボウキが目立つ穏やかなコースとなる。

四の峰には9分程、更に五の峰には7分程で到着である。思った程の視界が無く残念！。更に5分程登ったT字路に文殊峠を示す道標があり。杉林の中を10分程進むと、送電線の鉄塔で、南と北の面が切り開かれたビューポイントだ。

薄い雲に覆われているが武甲山から熊倉山が、反対側には赤城山周辺まで望めた。

更に30分程杉・檜林を進むと前方が開けた布沢峠だ。北面は二子山から赤城山辺りまでが広がり、背中には熊倉山の上に雲取山も望めるも、両神山は雲の中だ。T字路を左に折れて東側の山腹の道を20分程で、本日の最高峰の中の沢の頭である。更に大きなモミの木を見ながら10分程で、金精神社の祀られた文殊峠である。峠の林道の先にある小山には小さな天文台が設けられ、周囲を歩けるようになっている。やっと雲が取れてきたので階段を登ると、一帯が望めるポイントであった。両神山は曇っているものの武甲山や弟富士が、北面は西上州から赤城山までを堪能でき、思い出と重ねゆっくり休憩することが出来ました。

帰路は兎岩を計画しましたが、足元が悪い事と小生以外に登山者が居ないことから、安全等を危惧して、林道をそのまま車に戻った3時間半程(15500歩)の山旅となりました。花の寺でも有名な秩父32番霊場である法性寺の観音様を拝礼させて頂きました。(R2. 10. 21)

登山口

五の峰

文殊峠

天文台からの武甲山・子持山



天文台からの妙義山・赤城山

